

分子の大小（その３）

【定義】通分：複数ある分数の分母をそろえること

【定義】倍分：分母と分子に同じ数をかけること

【定義】既約分数：１以外で約分できない状態の分数

これから出てくる例題１で、通分を使って分母をそろえる。その次の例題２では倍分して、分子をそろえる。既約分数に関しては、問われたときに答えをそれ以上約分出来ない状態にしておけば問題ないはずです。

【例題１】

$\frac{1}{3}$ より大きくて、 $\frac{3}{7}$ より小さい分母が 21 の分数を求めなさい

《解答》

（まず分母が 21 なので、問題文の 2 つの分数を分母が 21 になるように通分する）

$$\frac{1}{3} < \frac{3}{7} \Rightarrow \frac{7}{21} < \frac{9}{21} \Rightarrow \frac{7}{21} < \frac{\quad}{21} < \frac{9}{21}$$

分母を 21 にそろえて、分子を比べると $7 < \quad < 9$ となる

7 と 9 の間の数字が答えとなるので

答え： $\frac{8}{21}$

【例題２】

$\frac{1}{2}$ より大きくて、 $\frac{7}{9}$ より小さい分母が 18 の分数を求めなさい。

またその中で、既約分数になる数はどれですか。

《解答》

（まず分母が 18 なので、問題文の 2 つの分数を分母が 18 になるように通分する）

$$\frac{1}{2} < \frac{7}{9} \Rightarrow \frac{9}{18} < \frac{14}{18} \Rightarrow \frac{9}{18} < \frac{\quad}{18} < \frac{14}{18}$$

分母を 18 にそろえて、分子を比べると $9 < \quad < 14$ となる

9 と 14 の間の数字が答えとなるので

答え： $\frac{10}{18}$ 、 $\frac{11}{18}$ 、 $\frac{12}{18}$ 、 $\frac{13}{18}$ 既約分数は $\frac{11}{18}$ 、 $\frac{13}{18}$